

資料2 “森”としての庁舎の基本理念

20251201
第4回新庁舎整備
基本計画検討分科会

基本構想

防災

あらゆる災害に対応できる庁舎

行政サービス

市民が利用しやすく、質の高い行政サービスが提供できる庁舎

まちづくりの核

まちの賑わいに貢献し、まちづくりの核となる庁舎

プラットフォーム
開かれた市民との接点
みんなでつくる・参加
受け止める場

第2回分科会での整理

しなやかな対応

行政サービス、レジリエンス、災害対応、DX推進、可変性、利便性

循環

環境、回遊、サステイナブル、にぎわい、歴史

包摂

防災、多文化共生、快適性
インクルーシブデザイン
多様な場所、文化的処方、

仮コンセプト

人とまちを まもり そだて つなぐ



としての庁舎

新庁舎の(仮)コンセプト

人とまちを まもり そだて つなぐ “森”としての 庁舎

森には、多様なものを受け入れる包容力と安心感があり、
循環と共生による持続性や創造力が満ちています。

「森の都」である熊本市の新庁舎は、この森のように、人やまちを守り、
賑わいや文化を育み、次世代へとつなぐ 「“森”としての庁舎」 をめざします。



新庁舎の各機能の整理を行うにあたり
「“森”としての庁舎」をイメージした5つの基本理念を定める

資料2 “森”としての庁舎の基本理念

“森”としての庁舎をイメージした5つの基本理念

①あらゆる災害からまもり
様々な状況に柔軟かつ
しなやかに対応する庁舎

防災・災害対応
レジリエンス 緊急避難
市民・NPOとの連携

③多様な場所や空間があり、
交流・共創と賑わいを
生み出す庁舎

まちづくりの核 回遊
交流・共創 にぎわい
様々な人が来る 多文化共生

②全ての人が使いやすく
アクセスしやすい、
居心地が良く快適な庁舎

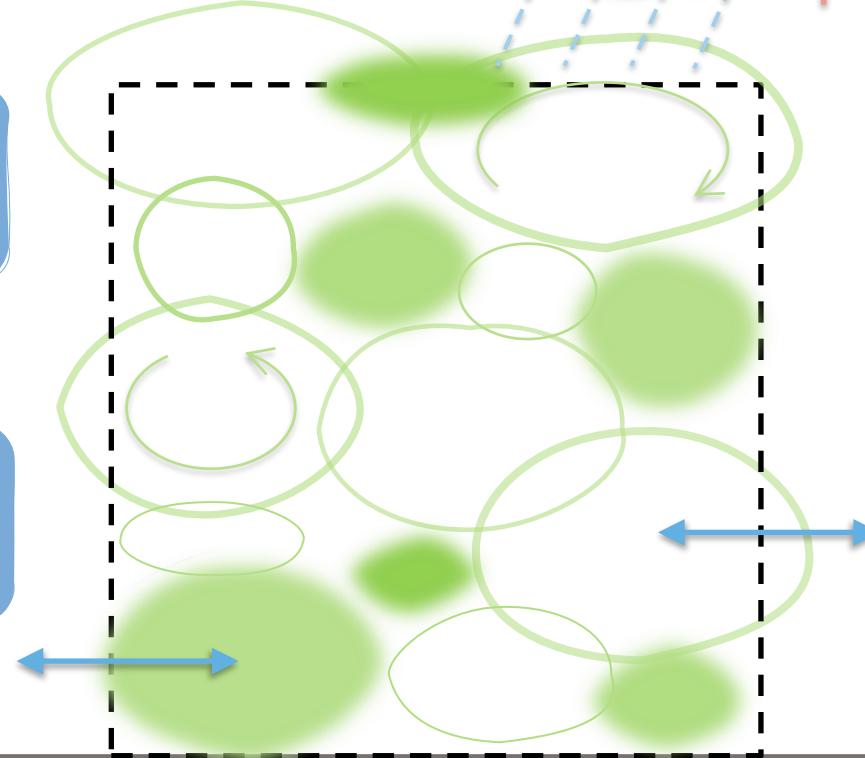
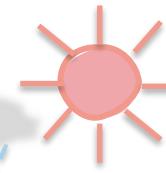
アクセシビリティ 行政サービス
多様性 インクルーシブデザイン
DX推進 利便性

④森の都の景観と調和し、
地域の歴史を継承し
文化を創出する庁舎

景観 歴史
文化的処方
まちの象徴 情報発信

⑤恵まれた環境や
限りある資源を活かし、
育み、永く使うことができる庁舎

持続可能 環境 循環 可変性



市民が関わる場所（参画・交流・憩い）

○ 庁舎を構成する空間・スペース